

ヲ野葛ト云、又毒草ニ野葛アリ、別物ナリ、混ズベカラズ、是ハ冷葛ト音相同ジ、ツタウルシノコトナリ、鉤吻ノ釋名ノ註ニ詳ナリ、本邦ニハ葛ヲ家園ニ栽ユルコトナシ、皆山野ノ者ヲ採ル、其葉互生ス、圓尖ナル三葉一蒂ニシテ、眉兒豆葉ニ似テ大ナリ、梢葉ハ每葉三尖ニシテ小豆葉ノ形ノ如シ、蔓ト共ニ褐毛多シ、肥タル者ハ葉大サ尺ニ過グ、和州芳野山ノ産別シテ肥大ナリ、七月梢葉ノ間ニ花穂ヲ出ス、長サ三五寸下垂ス、花ハ豆ノ花ニ似テ紫赤色、上代ハ名花ナク、此花ヲモ賞セシニヤ、萬葉集秋七種ノ歌ニアリ、花後莢ヲ結ブ、黃豆ノ莢ニ似テ狹薄褐毛多シ、江州水口及高宮邊ニテ蔓ヲ採リ、水ニ漬シ皮ヲ去リ織テ器トナス、フヂゴウリト云、根ヲスリシホリ水飛シテ葛粉トス、城州ニテハ和州ノ芳野葛ヲ上品トス、甚潔白ナリ然レドモ近年僞雜多シ、若州ノ熊川、及他州ノ産ハ色潔白ナラザレドモ僞雜ナシ、葛粉ヲ和方書ニ水粉ト云フ、唐山ニテ水粉ト云フハ、鉛粉ノ一名ニシテ京オシロヒナリ、

葛根藥舗ニ生乾トサラシト二品アリ、サラシハ白色ニシテ粉ヲ帶ブ、生乾ハ黃褐色藥用ニ入ベシ、唐山ニテハ生葛ヲモ用ユ、故ニ乾葛ト云フテ分ツ、

〔製葛錄〕葛生育する土地の事

葛ハ寒國暖國のへだてなく、山野に限らず、何れの所にも生ずといへども、平らかなる野の堅實の地なるハ、根瘦て粉を得る事少し、又樹木の茂れる中なるは、根肥たれども粉少し、何國にもあれ、黒土又ハ狐色にて輕き土の堅き惡地ハ、粉至て少く色も勝からず、又陰地ハ根細く粉も少し、陽地ハ根もよく粉も多しと知べし、只樹木の稀なる山の半腹、又ハ東南を請て日あたりよき谷間の岩石に添て生たる根宜し、夫ハ小さきも粉多し、譬へバ木山平原の地たりとも、土性少しかろく石の多き土地にてハ、根よく粉多し、砂ばかりの地の土肉のなきハ生育せず、總て暖國より寒國の葛よろし、